

# アジア世界

## 内陸アジア世界の形成と発展

7 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

前9世紀～前8世紀頃、内陸アジアの草原地帯には、騎馬遊牧民が登場した。史上最初の遊牧国家は、前6世紀頃に南ロシアの草原地帯を支配した **A** で、その影響を受け、前4世紀頃から内陸アジア東部でも騎馬遊牧民の活動が活発になった。特に、前3世紀末に大きな力を持った匈奴の君主 **B** は、成立直後の漢王朝を圧迫するほどであった。後4世紀になると、草原地帯の東西で遊牧民の活動が活発化し、東部では匈奴・**C**・羯・羌・氏の五胡が華北に侵入し、五胡十六国時代を現出した。その後、6世紀にモンゴル高原と中央アジアを統一した **D** や、8世紀頃に **D** に代わってモンゴル高原に進出した **E** など、内陸アジア世界では、トルコ系の人々が活躍するようになった。トルコ系の人々の中には、9世紀頃から中央アジアのオアシス都市に移住して定住生活をする者も現れ、オアシスの住民もトルコ語を使うようになった。このため、中央アジアの地域は、**F** と呼ばれるようになった。

モンゴル高原では、9世紀半ばに **E** が滅亡した後、長く統一政権が現れなかったが、13世紀初めにモンゴル部族の間で勢力を拡大した **G** =ハンが、モンゴル系・トルコ系諸部族を統一してモンゴル帝国を樹立し、西方へ領土を広げた。続くオゴタイは華北を領有し、**H** に都を建設した。オゴタイの命を受けた **I** は、東ヨーロッパに侵入し、ドイツ・ポーランド連合軍を破って、ヨーロッパ世界に衝撃を与えた。その後、**J** がバグダードを占領し、イスラームのアッバース朝を滅ぼした。また、フビライは、支配の重心を東方に移し、都を大都に定め、国名を中国風に元と称した。モンゴル帝国の成立と発展は、東西の交通路の整備を促し、東西文化の交流を活発にした。

問1 空欄 **A** ～ **J** に該当する最も適切な語句を、次の中からそれぞれ選び、符号で答えよ。

- ア. ウイグル    イ. 烏孫    ウ. カシュガル    エ. カラコルム    オ. カルピニ  
カ. 契丹    キ. クリルタイ    ク. 月氏    ケ. 杭州    コ. 柔然  
サ. スキタイ    シ. 鮮卑    ス. ソンツェン=ガンボ    セ. タリム盆地  
ソ. チャガタイ    タ. チンギス    チ. 突厥    ツ. トルキスタン    テ. パスパ  
ト. バトゥ    ナ. フラグ    ニ. フン    ヌ. 冒頓単于    ネ. ホラズム  
ノ. マジャパヒト    ハ. 耶律大石    ヒ. 遼    フ. ルブルック    ヘ. 完顔阿骨打

問2 下線部に関して、東西文化の交流による元朝の天文学・暦学の発達について、20～30字で記せ。